



ビジネスをサイエンスする

創立103年目の挑戦!

AKAHO HIGH SCHOOL COMMERCE COURSE

商業科通信

vol.186

経済社会で役立つスキルを身につける

地域社会の問題を考え貢献する

困難な課題を突破する力を育てる

本校商業科1年生1名が『信州つばさプロジェクト~グローバルインターンシップコース~』

【海外短期留学】に参加しました!

2月中旬

マレーシア

期間:1週間

信州つばさプロジェクトは県教育委員会主催の留学事業で、長野県の高校生が、経済発展が著しいマレーシアで、日本を拠点にしながら現地に展開する企業等でのインターンシップを通して国際感覚を養い、グローバル時代の経済を体感するとともに、現地の高校生・大学生と交流する体験を通じて、多民族国家マレーシアでの異文化を体験し、コミュニケーション力を高めることが目的。

マレーシア首都【クアラ・ Lumpur】のイオンでインターンシップ体験!



① つばさプロジェクトに参加した動機
私は、将来海外で働きたいと考えていました。でも海外に行ける機会はなかなかないと思っていました。担任の先生からつばさプロジェクトの紹介をしていただき、参加することを決めました。

② 出発前までに行ったこと
出発前には事前学習会が何度かあり、このプロジェクトに参加した他校の生徒との交流や、マレーシアについての学習とプロジェクトで何を学びたいかなどをまとめたりしました。個人的にはこの機会を少しでも充実させたいと思い、英語の勉強に力を入れました。

③ マレーシアで行ったこと(全体的)
マレーシアでは主に現地のイオンモールの行き、店頭で立って実習を行いながら、日本とマレーシアのビジネスの違いについて学びました。またマレーシアの大学生や現地の高校生の皆さんとの交流も行って、マレーシアの歴史や文化を学びました。その際に大学生の皆さんがとても日本語が上手で驚かされました。高校生の皆さんはとも日本好きで、私のパートナーの女の子は日本に行ったら桜を見てみたいと話していました。マレーシアの学校には日本語教室があるところもあり、日本に親しみを感じている方が多いと感じました。

④ マレーシアで行ったこと(インターンシップ)
インターンシップでは、私はフードコースを選択しました。フードコースでは、マレーシアと日本のイオンの取扱食品の違いや、多文化多民族のマレーシアに関して気をつけていることなどを学びま

今回参加した櫻井さんに感想を書いてもらいました。

マレーシアの大学生・高校生と交流!



⑤ つばさプロジェクトに参加して得た学び
マレーシアは多文化、多民族を活かし「HALAL」認定のされている商品を開発したり、今後イスラム教の方が増加していくことを予想し様々な取り組みを行っています。現在の日本ではまだイスラム教の方への対応が一般的ではないと思います。オリンピックもありこれから沢山の外国の方が日本を訪れると思うので、日本はもっと多文化・多民族の対応を積極的に行っていくべきだと思います。

⑥ 全体の感想(今後についてなど)
今回のつばさプロジェクトを通してマレーシアの多様性の受け入れ方などを少なからず学べたと思います。マレーシアのイスラム教の方への配慮はとも驚かされました。このプロジェクトに参加してみて、私の海外で働くという夢が、海外の方が日本を過こしやすいようサポートするお店を作ることになりました。私はマレーシアに行ったことで視野が広がり、新しい目標が出来ました。私は高校生にも、海外に行くって自分の目で刺激を受けて欲しいと思います。